

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年6月16日(2011.6.16)

【公開番号】特開2010-119891(P2010-119891A)

【公開日】平成22年6月3日(2010.6.3)

【年通号数】公開・登録公報2010-022

【出願番号】特願2010-53648(P2010-53648)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 4 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月26日(2011.4.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技媒体を用いて遊技が行われ、入賞が発生した場合に所定の有価価値を付与し、識別情報の可変表示を実行し表示結果を停止表示する可変表示部を備えた遊技機であって、遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

遊技機に設けられている発光体の制御を前記遊技制御手段から出力される情報に応じて行う発光体制御手段と、

遊技媒体を貯留する貯留手段とを備え、

前記遊技制御手段は、

識別情報の可変表示を開始するときに識別情報の可変表示の開始を示すコマンドを出力し、識別情報の可変表示を終了し表示結果を停止表示するときに識別情報の確定を示すコマンドを出力し、

前記発光体制御手段は、前記発光体の制御として、少なくとも、前記貯留手段に貯留されている遊技媒体が不足状態になったことの報知を、あらかじめ保持している報知パターンデータにもとづいて実行する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本発明による遊技機は、遊技媒体を用いて遊技が行われ、入賞が発生した場合に所定の有価価値を付与し、識別情報の可変表示を実行し表示結果を停止表示する可変表示部を備えた遊技機であって、遊技の進行を制御する遊技制御手段と、遊技機に設けられている発光体の制御を遊技制御手段から出力される情報に応じて行う発光体制御手段と、遊技媒体を貯留する貯留手段とを備え、遊技制御手段は、識別情報の可変表示を開始するときに識別情報の可変表示の開始を示すコマンドを出力し、識別情報の可変表示を終了し表示結果を停止表示するときに識別情報の確定を示すコマンドを出力し、発光体制御手段が、発光

体の制御として、少なくとも、貯留手段に貯留されている遊技媒体が不足状態になったことの報知を、あらかじめ保持している報知パターンデータにもとづいて実行することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明によれば、遊技機を、発光体制御手段が、発光体の制御として、少なくとも、貯留手段に貯留されている遊技媒体が不足状態になったことの報知を、あらかじめ保持している報知パターンデータにもとづいて実行するように構成したので、発光体制御手段が遊技制御手段とは独立して設けられている構成において、発光体制御プログラムの構造を簡略化することができる効果がある。また、遊技制御手段が上記の報知のための制御を行わなくてよいので、遊技制御手段の発光体制御に関する負荷が軽減される。